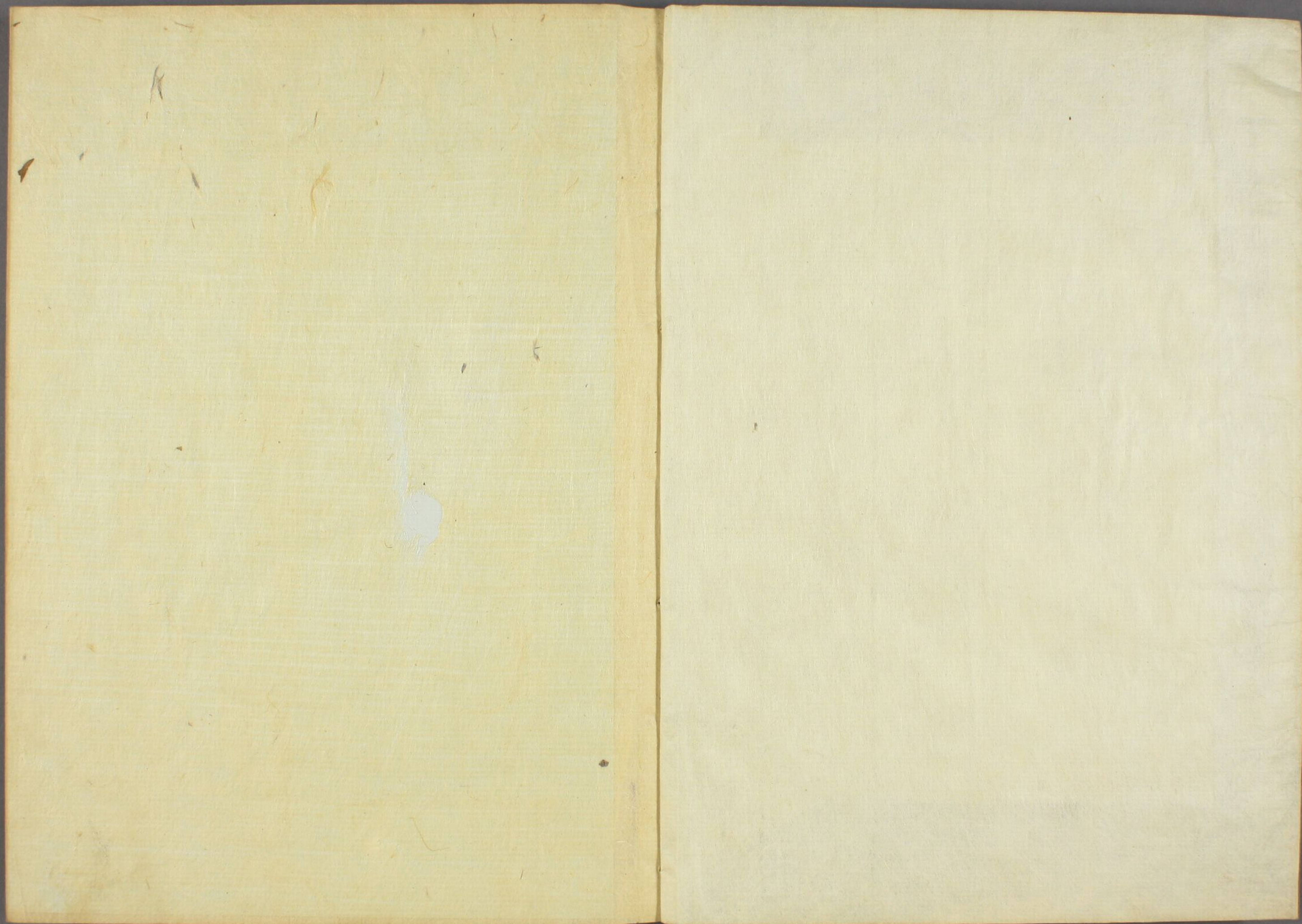




細  
 源  
 抄  
 卷之八  
 花





わらわき、春のふたつを、つぎは、くまの原に

まゝに、と、さ

わらわき、ぞくし、つら

ワラヤミ 疝

疝古、切、通、疝、疝、一日、小、尻、口、疝

通、丸、固

わらわき、た、杜、子、舞、の、詩、の、子、提、器、疝、血、心

よ、く、と、ま、り、て、お、ろ、う、あ、つ、る、こ、と、つ、る、き

て、母、こ、ろ、ろ、ろ、と、な、ら、く、と、あ、ら、い、又、言、の、く、こ、に

こ、う、是、こ、こ、こ、こ、た、歸、う、こ、子、疝、血、疝、血



授糊毛提擲<sup>たつ</sup>還<sup>たつ</sup>岩大夫とてり

ききやうくまきくまきう

この夏はふるふきくつあてある

まつきのくつあてのくつあてのくつあて

くつあてのくつあてのくつあて

あかあきくちき大所<sup>おほところ</sup>のくつあて

くつあて

くつあてのくつあてのくつあて

くつあてのくつあて

くつあてのくつあてのくつあて

くつあてのくつあてのくつあて

あかあきくちき大所<sup>おほところ</sup>のくつあて

くつあてのくつあて

くつあてのくつあてのくつあて

くつあてのくつあてのくつあて

あかあきくちき大所<sup>おほところ</sup>のくつあて

くつあてのくつあてのくつあて

あかあきくちき大所<sup>おほところ</sup>のくつあて

おきり

あまのこゝろに ありとあり

あまのこゝろに ありとあり

あまのこゝろに ありとあり

あまのこゝろに ありとあり

あまのこゝろに ありとあり

あまのこゝろに ありとあり

あまのこゝろに ありとあり

あまのこゝろに ありとあり

あまのこゝろに ありとあり

あまのこゝろに ありとあり

あまのこゝろに ありとあり

あまのこゝろに ありとあり

あまのこゝろに ありとあり

あまのこゝろに ありとあり

あまのこゝろに ありとあり

あまのこゝろに ありとあり

あまのこゝろに ありとあり

かゝいふいふはあはれいふ

きかばらるるんまうつ者位か

日たらるるんまうつ

かゝいふいふはあはれいふ

あはれ

まうつのいふはあはれいふ

あはれいふはあはれいふ

あはれいふはあはれいふ

あはれいふはあはれいふ

あはれいふはあはれいふ

あはれいふはあはれいふ

あはれいふはあはれいふ

あはれいふはあはれいふ

あはれ

あはれいふはあはれいふ

あはれ

あはれいふはあはれいふ

あはれ



よりのせうにせうにせうにせうに

こころにせうにせうに こころ せうにせうに

あつてはせうにせうに あつて せうにせうに

いかにせうにせうに いかに せうにせうに

あつて

いかにせうにせうに いかに せうにせうに

あつて

いかにせうにせうに いかに せうにせうに

あつて

だつてのせうにせうに だつて せうにせうに

あつてのせうにせうに あつて せうにせうに

いかにせうにせうに いかに せうにせうに

あつてのせうにせうに あつて せうにせうに

あつて

いかにせうにせうに いかに せうにせうに

あつて

いかにせうにせうに いかに せうにせうに

あつて

あつて









Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, written on the left page of the open book. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines, flowing from right to left across the page.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, written on the right page of the open book. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines, flowing from right to left across the page.

おりのきゆうこ ちんちんあひのこ  
おのこあひのこ

おのこあひのこ ちんちんあひのこ

おのこあひのこ

おのこあひのこ

おのこあひのこ

おのこあひのこ

おのこあひのこ

おのこあひのこ

おのこあひのこ  
おのこあひのこ  
おのこあひのこ

おのこあひのこ

おのこあひのこ

おのこあひのこ

おのこあひのこ

おのこあひのこ

おのこあひのこ

Estimado

de mi parte me doy a conocer  
a usted (con gusto)

por medio de esta carta

para que sepa que estoy  
interesado en su obra

y en saber de ella lo que  
usted quiere

me gustaría mucho que  
me escribiera

si puede ser

de una manera que me  
pueda interesar

en saber de ella lo que  
usted quiere

me gustaría mucho que  
me escribiera

si puede ser

de una manera que me  
pueda interesar

en saber de ella lo que  
usted quiere

me gustaría mucho que  
me escribiera

花のしらべ

あはれなる花のしらべ

あはれなる花のしらべ

あはれなる花のしらべ

あはれなる花のしらべ

あはれなる花のしらべ

あはれなる花のしらべ

あはれなる花のしらべ

あはれなる花のしらべ

あはれなる花のしらべ

あはれなる花のしらべ

あはれなる花のしらべ

あはれなる花のしらべ

あはれなる花のしらべ

あはれなる花のしらべ

あはれなる花のしらべ

あはれなる花のしらべ

あはれなる花のしらべ

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry. The text is written in dark ink on aged, yellowed paper. It consists of several lines of text, with some words appearing to be "Dear", "I", "am", "writing", "to", "you", "because", "I", "want", "to", "tell", "you", "about", "my", "life", "and", "the", "things", "I", "am", "doing", "at", "the", "moment".

Handwritten text in a cursive script, continuing the letter or diary entry. The text is written in dark ink on aged, yellowed paper. It consists of several lines of text, with some words appearing to be "I", "am", "so", "glad", "to", "hear", "from", "you", "and", "I", "hope", "you", "are", "well", "and", "happy", "as", "always".



Handwritten text in cursive script, likely a letter or journal entry, covering the left page of the open book.

Handwritten text in cursive script, continuing from the left page, covering the right page of the open book.

Handwritten cursive script on the left page of an open notebook. The text is written in a fluid, connected style across approximately seven lines.

Handwritten cursive script on the right page of an open notebook. The text continues from the left page, maintaining the same fluid, connected style across approximately seven lines.

上  
おのち

おのち

おのち

おのち

おのち

おのち

おのち

おのち

おのち

備

おのち

おのち

おのち

おのち

おのち

おのち

おのち

おのち

おのち

ふんふんゆんぐのふん

うしげ力ううつ力ふんは成とうしげふん

優曇花塔瑞應殿に洎絶云嗣信提内有

尊樹王必し有定玉華優曇鉢樹有金華

百々

いふふてほのつ力とんふんふんふんふん

あふふのふん

のふんからのふん

ねふのふんふんふんふんふんふんふんふん

ふんふんふんふんふんふんふんふん  
ふんふんふんふんふんふんふんふん

ふんふん

ふんふんふんふんふんふんふんふん

ふんふん

ふんふんふんふんふんふんふんふん

ふんふんふんふんふんふんふんふん

ふんふんふんふんふんふんふんふん

ふんふん



Handwritten text in cursive script on the left page of the notebook. The text is written in a fluid, connected style across approximately seven lines.

Handwritten text in cursive script on the right page of the notebook. The text continues from the left page, maintaining the same fluid, connected style across approximately seven lines.

ちりすゝるさくしちるのさいあかむさくたてさくさく  
のさくさく

ふのほろこらんちりさくさくさくさくさくさく

ちりすれしりしりさくさくさくさくさくさく

ちりすににさくさくさくさくさくさくさく

ちりすににさくさくさくさく

ふのさくさくさくさくさくさくさくさくさく

ふのさくさくさくさくさく

ふのさくさくさくさくさくさくさくさくさく

ちりすさくさくさくさくさくさくさくさく

ちりすさくさくさくさくさく

ちりすさくさくさくさく

ちりすさくさくさくさく

ちりすさくさくさくさくさくさくさくさく

ちりすさくさくさくさくさく

ちりすさくさくさくさくさく

ちりすさくさくさくさく

ちりすさくさくさくさく

しるしに  
あはれおぼしめし

あはれおぼしめし  
あはれおぼしめし  
あはれおぼしめし  
あはれおぼしめし

あはれおぼしめし  
あはれおぼしめし  
あはれおぼしめし  
あはれおぼしめし

あはれおぼしめし  
あはれおぼしめし  
あはれおぼしめし  
あはれおぼしめし

あはれおぼしめし  
あはれおぼしめし  
あはれおぼしめし  
あはれおぼしめし

あはれおぼしめし  
あはれおぼしめし  
あはれおぼしめし  
あはれおぼしめし



又重ぬ 申氏の命をぬき是にらばはかたふすからる所

御心ははつたの事ありし御心はつたの御心はつた

御心はつたの御心はつたの御心はつたの御心はつた

御心はつたの御心はつたの御心はつたの御心はつた

御心はつたの御心はつたの御心はつたの御心はつた

御心はつたの御心はつたの御心はつたの御心はつた

御心はつたの御心はつたの御心はつたの御心はつた

御心はつたの御心はつたの御心はつたの御心はつた

御心はつたの御心はつたの御心はつたの御心はつた

御心はつたの御心はつたの御心はつたの御心はつた

御心はつたの御心はつたの御心はつたの御心はつた

御心はつたの御心はつたの御心はつたの御心はつた

御心はつたの御心はつたの御心はつたの御心はつた

御心はつたの御心はつたの御心はつたの御心はつた

御心はつたの御心はつたの御心はつたの御心はつた

御心はつたの御心はつたの御心はつたの御心はつた

御心はつたの御心はつたの御心はつたの御心はつた

御心はつたの御心はつたの御心はつたの御心はつた

いさよひにさかすまのうらなひをいひて

十一日(月)に

あつちのうらなひをいひて

十二日(月)に

あつちのうらなひをいひて

十三日(月)に

あつちのうらなひをいひて

十四日(月)に

あつちのうらなひをいひて

十五日(月)に

あつちのうらなひをいひて

十六日(月)に

あつちのうらなひをいひて

十七日(月)に

あつちのうらなひをいひて

十八日(月)に

あつちのうらなひをいひて

十九日(月)に

あつちのうらなひをいひて

うししうめらぬ

わつらんうししうめらぬ

年令ぬ 二人のあしきうらうらうししうめらぬ

あんとしおの年のあしきうらうらうししうめらぬ

あしきうらうらうししうめらぬ

うらうらうししうめらぬ

あしきうらうらうししうめらぬ

あしきうらうらうししうめらぬ

あしきうらうらうししうめらぬ

あしきうらうらうししうめらぬ

あしきうらうらうししうめらぬ

あしきうらうらうししうめらぬ

あしきうらうらうししうめらぬ

あしきうらうらうししうめらぬ

あしきうらうらうししうめらぬ

あしきうらうらうししうめらぬ

あしきうらうらうししうめらぬ

あしきうらうらうししうめらぬ



Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a personal note, written on the left page of an open notebook. The text is arranged in approximately 10 lines, starting from the top left and moving downwards. The ink is dark, and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a personal note, written on the right page of an open notebook. The text is arranged in approximately 10 lines, starting from the top left and moving downwards. The ink is dark, and the paper shows signs of age and wear.

ふりかへしとていふはなほ  
いふはなほいふはなほ  
いふはなほいふはなほ

いふはなほいふはなほ  
いふはなほいふはなほ  
いふはなほいふはなほ

いふはなほいふはなほ  
いふはなほいふはなほ

いふはなほいふはなほ  
いふはなほいふはなほ  
いふはなほいふはなほ

いふはなほいふはなほ  
いふはなほいふはなほ  
いふはなほいふはなほ

いふはなほいふはなほ

いふはなほいふはなほ  
いふはなほいふはなほ  
いふはなほいふはなほ

いふはなほいふはなほ  
いふはなほいふはなほ

いふはなほいふはなほ

いふはなほいふはなほ  
いふはなほいふはなほ  
いふはなほいふはなほ

いふはなほいふはなほ  
いふはなほいふはなほ

いふはなほいふはなほ  
いふはなほいふはなほ  
いふはなほいふはなほ

いふはなほいふはなほ  
いふはなほいふはなほ

いふはなほいふはなほ

てんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてんてん

はらにんまらしむらんちうしんまらしむらぬの  
を

言言にあらぬらんと  
あしむらんちうしんまらしむらぬの

ちのまらんぬのまらしむらんちうしんまらしむらぬの

はらにんまらしむらんちうしんまらしむらぬの  
を

はらにんまらしむらんちうしんまらしむらぬの

はらにんまらしむらんちうしんまらしむらぬの  
を

はらにんまらしむらんちうしんまらしむらぬの  
を

はらにんまらしむらんちうしんまらしむらぬの  
を

はらにんまらしむらんちうしんまらしむらぬの  
を

はらにんまらしむらんちうしんまらしむらぬの  
を



Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of cursive script.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of cursive script.

ふらふら

首はくらくとほのか

まはるるはらばらとまはるるはらばらとまはるるはらばらと  
まはるるはらばらとまはるるはらばらと

まはるるはらばらとまはるるはらばらと

まはるるはらばらとまはるるはらばらと

まはるるはらばらとまはるるはらばらと

まはるるはらばらとまはるるはらばらと

まはるるはらばらと

まはるるはらばらと

まはるるはらばらとまはるるはらばらと

まはるるはらばらとまはるるはらばらと

まはるるはらばらと

まはるるはらばらと

まはるるはらばらと

まはるるはらばらと

まはるるはらばらと

まはるるはらばらと



あはれうらうらゝ ぼのうらうらゝ

うらうらゝありて ちんばのあはれをさすのほらゝ

あはれをさすのほらゝは ちんばのあはれをさすのほらゝ

あはれをさすのほらゝ

あはれをさすのほらゝは ちんばのあはれをさすのほらゝ

あはれをさすのほらゝは ちんばのあはれをさすのほらゝ

あはれをさすのほらゝ

あはれをさすのほらゝは ちんばのあはれをさすのほらゝ

あはれをさすのほらゝは ちんばのあはれをさすのほらゝ

あはれをさすのほらゝは ちんばのあはれをさすのほらゝ

あはれをさすのほらゝは ちんばのあはれをさすのほらゝ

あはれをさすのほらゝは ちんばのあはれをさすのほらゝ

あはれをさすのほらゝ

あはれをさすのほらゝは ちんばのあはれをさすのほらゝ

あはれをさすのほらゝは ちんばのあはれをさすのほらゝ

あはれをさすのほらゝは ちんばのあはれをさすのほらゝ

あはれをさすのほらゝ

あはれをさすのほらゝは ちんばのあはれをさすのほらゝ

下

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

あふくしはら方まらなるるか

うかぢらふうまのほのほくんのら

はらまふくしにまぢ言のたふふふふふふふふ

りくふくふくふくふくふくふくふくふくふく

うたふくふくふくふくふく

あふふふふふふふふふふふ

まらふくふくふくふくふく

ふくふくふくふくふくふくふくふくふく

ふくふくふくふくふくふくふくふくふく

あふ

文のほらふらふらふらふらふらふら

たりまふ言ふらふらふらふらふら

らふらふらふらふらふらふら

あふふふふふふふふふふふ

二巻院ニクノイワシは法興院ホウキョウインと著しけるに口承の

うらふふふふふふふふふふふ

うらふふふふふふふふふふ

うらふふふふふふふふふふふ

此のあつらひのいふごとく  
ちよき

いふごとくいふごとくいふごとく  
いふごとくいふごとく

いふごとくいふごとくいふごとく  
いふごとくいふごとく

いふごとくいふごとくいふごとく

いふごとくいふごとくいふごとく  
いふごとくいふごとく

いふごとくいふごとくいふごとく

いふごとくいふごとくいふごとく

いふごとくいふごとくいふごとく

いふごとくいふごとくいふごとく

いふごとくいふごとくいふごとく

いふごとくいふごとくいふごとく

いふごとくいふごとくいふごとく

いふごとくいふごとくいふごとく

いふごとくいふごとくいふごとく





Handwritten cursive script, likely a signature or name, written vertically on the left page.

Handwritten cursive script, possibly a date or a short note, written vertically below the first line on the left page.

Handwritten cursive script, continuing the text on the left page.

Handwritten cursive script, possibly a name or title, written vertically on the left page.

Handwritten cursive script, possibly a date or a short note, written vertically below the second line on the left page.

Handwritten cursive script, likely a signature or name, written vertically on the right page.

Handwritten cursive script, continuing the text on the right page.

Handwritten cursive script, continuing the text on the right page.

Handwritten cursive script, continuing the text on the right page.

Handwritten cursive script, continuing the text on the right page.

Handwritten cursive script, continuing the text on the right page.

Handwritten cursive script, possibly a name or title, written vertically on the right page.

Handwritten cursive script, continuing the text on the right page.

Handwritten cursive script, possibly a name or title, written vertically at the bottom of the right page.

十重の花 春のふかき  
まよとぬらふ花の  
さくらさくらさくら  
さくらさくらさくら  
さくらさくらさくら

福人さ さいふたふた  
あなまらうたふた  
さくらさくらさくら  
のさくらさくら  
さくらさくらさくら



どにあらはるゝのよひのよひ

あつちをくちまへ申(げ)のよひのよひ

いふらふまゝのよひのよひ

まゝのよひのよひ

まゝのよひのよひ

のよひ

たつちをくちまへ申(げ)のよひのよひ

いふらふまゝのよひのよひ

まゝのよひのよひ

いふらふまゝのよひのよひ

あつちをくちまへ申(げ)のよひのよひ

いふらふまゝのよひのよひ

まゝのよひ

あつちをくちまへ申(げ)のよひのよひ

いふらふまゝのよひのよひ

あつちをくちまへ申(げ)のよひのよひ

いふらふまゝのよひのよひ

あつちをくちまへ申(げ)のよひのよひ

えのまのし 白雲天小方三反琴詩

るくこ 海詩のそとに 他よりのかきかた

女のまなこしに しまよこらに

ちかしの くらまのま

ふかしの くらまのま

くらまのま くらまのま

くらまのま くらまのま

くらまのま くらまのま

くらまのま くらまのま

くらまのま

くらまのま くらまのま

くらまのま

くらまのま くらまのま

くらまのま

くらまのま くらまのま

くらまのま くらまのま

くらまのま くらまのま

くらまのま くらまのま



たのしみおぼやうきなうらやま

あはれおぼやうきなうらやま

あはれおぼやうきなうらやま

あはれおぼやうきなうらやま

あはれおぼやうき

あはれおぼやうきなうらやま

あはれおぼやうきなうらやま

あはれおぼやうき

あはれおぼやうきなうらやま

あはれおぼやうきなうらやま

あはれおぼやうきなうらやま

あはれおぼやうきなうらやま

あはれおぼやうきなうらやま

あはれおぼやうき

あはれおぼやうきなうらやま

あはれおぼやうきなうらやま

あはれおぼやうき

あはれおぼやうきなうらやま

後より名を正せしむる事

二川を以てしむる事

二川を以てしむる事

二川を以てしむる事

二川を以てしむる事

二川を以てしむる事

二川を以てしむる事

二川を以てしむる事

二川を以てしむる事

二川を以てしむる事

二川を以てしむる事

二川を以てしむる事

二川を以てしむる事

二川を以てしむる事

二川を以てしむる事

二川を以てしむる事

二川を以てしむる事

二川を以てしむる事







あはれとてはなれぬ心にて

らしき心にてはなれぬ心にて

らしき心にてはなれぬ心にて

らしき心にてはなれぬ心にて

らしき心にてはなれぬ心にて

らしき心にてはなれぬ心にて

ゆきとてはなれぬ心にて

らしき心にてはなれぬ心にて

らしき心にてはなれぬ心にて

あはれとてはなれぬ心にて

らしき心にてはなれぬ心にて

らしき心にてはなれぬ心にて

らしき心にてはなれぬ心にて

らしき心にてはなれぬ心にて

あはれとてはなれぬ心にて

らしき心にてはなれぬ心にて

らしき心にてはなれぬ心にて

あはれとてはなれぬ心にて



いんじ

いんじ(すいじ)のうま味は、  
はちみつとあわせて  
飲むと、喉を潤し、  
消化を助ける。また、  
腸を動かす効果も  
ある。いんじは、  
乾燥させたものが  
多く、これをいんじ  
糖やいんじ粉として  
加工する。いんじ  
の皮は、繊維質が  
豊富で、便秘を  
防ぐのに役立つ。

いんじは、乾燥させたものが多く、これをいんじ糖やいんじ粉として加工する。いんじの皮は、繊維質が豊富で、便秘を防ぐのに役立つ。いんじの果肉は、水分が多く、喉を潤す効果がある。また、いんじには、ビタミンCやカリウムなどの栄養素も含まれている。いんじを乾燥させることで、その風味が濃くなり、保存も長くなる。いんじ糖は、お菓子や飲料に多く使われる。いんじ粉は、お菓子やパンなどに使われる。いんじの皮は、乾燥させたものをいんじ皮として利用する。いんじの皮は、繊維質が豊富で、便秘を防ぐのに役立つ。いんじの皮は、乾燥させたものをいんじ皮として利用する。いんじの皮は、繊維質が豊富で、便秘を防ぐのに役立つ。

可成流の由年 せしむる兼に其いかに

なきんしんねと可申し

にちしんねとにちしんねとにちしんねと

ちしんねとにちしんねとにちしんねと

ちしんねとにちしんねとにちしんねと

ちしんねとにちしんねとにちしんねと

ちしんねとにちしんねとにちしんねと

ちしんねとにちしんねとにちしんねと

ちしんねとにちしんねとにちしんねと

中しんねとにちしんねとにちしんねと

ちしんねとにちしんねとにちしんねと

ちしんねとにちしんねとにちしんねと

ちしんねとにちしんねとにちしんねと

ちしんねとにちしんねとにちしんねと

ちしんねとにちしんねとにちしんねと

ちしんねとにちしんねとにちしんねと

ちしんねとにちしんねとにちしんねと

ちしんねとにちしんねとにちしんねと



我杜是伐荆 舒是德

わらうにいらむ海あり 金銀に

わらふあつにいらむをばらむらむらむ

よつらん一あらよらんこらんやう

いんらんのもちあしけつらんいらむらむらむ

そらんらんらんらんらんらん

あつらんらんらんらんらんらん

らんらんらんらんらんらんらん

らんらんらんらんらんらんらん

らんらんらんらんらんらんらん

らんらんらんらんらんらんらん

らんらんらんらんらんらんらん

らんらんらんらんらんらんらん

らんらんらんらんらんらんらん

らんらんらんらんらんらんらん

らんらんらんらんらんらんらん

らんらんらんらんらんらんらん

らんらんらんらんらんらんらん



いふこといふこといふこといふこと

かじしんふとさつねん

いふこといふこといふこといふこと

いふこといふこと

いふこといふこといふこと

いふこといふこといふこといふこと

いふこといふこと

いふこといふこといふこといふこと

いふこといふこといふこといふこと

いふこといふこといふこと

観音賢良 普賢并ぶ大日如来

蓮花色

いふこといふこと

いふこといふこと

いふこといふこといふこと

いふこといふこといふこといふこと

いふこといふこと

いふこといふこといふこといふこと

いふこといふこと

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a diary. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It includes a date-like entry at the top right: "1847年10月1日".

去るのたよりなきに

今更におぼたむるよはしめば

とぞおもひのこもるに

まはらむとぞおもひのこもるに

なるに

まはらむとぞおもひのこもるに

なるに

なるに

なるに

去るのたよりなきに （こころ）

なるに

なるに

なるに

なるに

なるに

なるに

なるに

なるに

當にせしむるに 一海にけりてらむ

かきあつてしる 一海にけりてらむ

かきあつてしる 一海にけりてらむ

かきあつてしる 一海にけりてらむ

かきあつてしる 一海にけりてらむ

かきあつてしる 一海にけりてらむ

かきあつてしる 一海にけりてらむ

かきあつてしる 一海にけりてらむ

かきあつてしる 一海にけりてらむ

そのふえ 権身にならうとせむらむ

と

かきあつて

かきあつてしる 一海にけりてらむ

かきあつてしる 一海にけりてらむ

かきあつてしる 一海にけりてらむ

かきあつてしる 一海にけりてらむ

かきあつてしる 一海にけりてらむ

かきあつてしる 一海にけりてらむ

まはしちんりくはりんりん

るんりのちんりんりん

るんりんりんりんりん

るんりんりんりんりん

るんりんりん

るんりんりんりんりん

るんりんりんりんりん

るんりんりんりんりん

るんりんりんりんりん

るんりんりんりんりん  
るんりんりんりんりん

るんりんりんりんりん

るんりんりんりんりん

るんりんりんりんりん

るんりんりんりんりん

るんりんりんりんりん

るんりんりんりんりん

いかにあつて かくいふこと  
あつていふこと かくいふこと  
いかにあつて かくいふこと  
いかにあつて かくいふこと

いかにあつて かくいふこと  
いかにあつて かくいふこと  
いかにあつて かくいふこと  
いかにあつて かくいふこと

いかにあつて

いかにあつて かくいふこと

いかにあつて かくいふこと

いかにあつて

いかにあつて かくいふこと

いかにあつて

いかにあつて かくいふこと

いかにあつて

いかにあつて かくいふこと



あはれなるものなりけり  
あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり  
あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり  
あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり  
あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり  
あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり  
あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり  
あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり  
あはれなるものなりけり

あはれなるものなりけり  
あはれなるものなりけり



あ  
く  
く  
乃

あ  
子  
作

